

No.1 「仲良く学ぶ」①

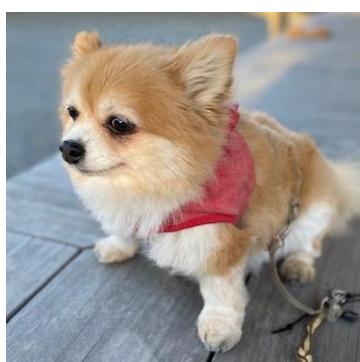
おはようございます。校長先生の声、届いていますか？

始業式のときに、わからない、教えてが言えるようにとお話をしたところ、さっそく「わからへん！」という声は授業中にたくさん聞こえるようになってきました。この調子で、ぜひ周りのお友だちに「教えて」が言えるようにがんばっていきましょう。

それでは、今日は「仲良く学ぶ」というお話をします。さっきもお話ししましたが、教えてが言えるようになるためには、周りの子と仲良くなっていたほうがいいですね。

でも、この仲良くするというのは、案外難しく、クラスの中でも、誰とでも仲良くできるよという人は少ないのでないでしょうか。そこで、今日から何回か、校長先生の家の犬やネコをみながら、いっしょに仲良く学ぶことについて考えたいと思います。

もともと校長先生の家にはチェリーという犬がいました。今から14年前に家の近くのペットシ



ョップで売られていたものです。ポメラニアンとチワワのミックスで、見た目は小さくてかわいいのですが、とても気が強く、お散歩中に「あ、かわいい犬がいる！」と子どもなどがなでようすると「グルルッ」となり声をあげて威嚇します。そう、チェリーはとても気が強い、絶対家族以外には絶対なつかないタイプの犬なんです。

そのチェリーが5歳ときの冬に、先生の娘が家

の前の溝で死にかけていたネコをひろってきました。それが、このニヤンマルです。全身どろだらけで、とてもやせていて、くさくてブルブルふるえていました。お風呂に入れてあげると、においもとれて、きれいなサビネコというのがわかりました。そして、なんと娘がニヤンマルと名付けて家で飼いたいと言い出しました。

でも、先生の家にはすでに犬のチェリーがいます。犬とネコ、同じ家でいっしょに暮らせるのでしょうか。



犬やネコを飼っている人なら知っていると思いますが、この2つの動物は基本的には仲がよくありません。チェリーもお散歩中にネコをみかけると「ふーっ」と歯をむき出しにして、ネコをおっかけようとします。ネコもネコで逃げるネコもいれば、逆にフーッと背中を丸めて威嚇のポーズをとって攻撃態勢に入るネコもいます。

そのため、校長先生は、犬にとても、ネコにとってもすごいストレスになるからやめようと反対しました。

しかし、娘が泣きながら絶対に飼いたいと言い張るので、しうがなく、じゃあ、今ニヤンマルは弱っているから、元気になるまでのあいだだけだよという約束で飼うことにしました。

さて、このあと校長先生の家のチェリーとニヤンマルはどうなったでしょうか？少し周りのひとと聞き合ってみてください。

ニヤンマルを部屋の片隅のおいた小さなダンボールの箱に入れると、弱ってたのかすぐに丸くなつて寝ました。

そしてチェリーは、はじめて近くでみるネコに最初はとてもびびっていました。いつもなら、わーっとかけよって、ふーっと歯をむき出して怒るのですが、なんとチェリーは寝ているニヤンマルを絶対に攻撃しませんでした。それどころか、ニヤンマルのにおいをにおったり、鼻をこすりあわせて、仲良くなろうとしていました。

どうして、仲良くなろうと思ったのか全くわかりませんが、チェリーとニヤンマルはとても仲良しになりました。

そんな仲がいいのに、ニヤンマルだけを捨てるわけにはいきません。仲がよくなつたおかげで、ニヤンマルも先生の家族の一員になりました。

しかし、このあとニヤンマルに大変なことが起こりました。

今日の話はここまでです。最後まで先生の話を静かに聞いてくれて本当にありがとうございます。またよかつたら、今日のお話の感想を校長室前のボードにつぶやいてみてください。これで校長先生の話を終わります。